

観光計画特論 (2単位)

担当者氏名 麻生 恵・荒井 歩

◆学習・教育目標(到達目標を記載)

観光計画の領域は幅広いが、本講では主に観光活動の受け皿となる空間整備や観光地づくりの観点からアプローチする。21世紀成熟社会を迎え、観光活動は単なる地域ビジネスや地域活性化の手段だけでなく、バランスのとれた国土づくり、地域文化や美しい景観の形成、地域の個性や魅力づくりなどと密接に関わっている。本講では先ず、観光の概念、観光の今日的な意義について理解するとともに、観光計画の考え方、手順と方法を学んだ上で、様々な具体的な計画事例の紹介と分析を通して、それぞれの特性を活かした魅力ある観光地づくりの実際について学ぶ。造園学の視座に立脚した観光の今日的な意義が理解でき、観光地計画の立案が可能になることを本講の到達目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

観光	レクリエーション	観光資源	リゾート
地域振興	景観計画	エコ・ツーリズム	

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	観光の概念	観光の概念、観光旅行の変遷、今後の観光の在り方	第1回～第5回は、参考資料等に事前に目を通して授業に備える。第6回～第9回は、景観法、文化財保護法、環境影響評価技術関連の報告書等に目を通す。第10回～第15回は、調査対象地に関係する資料を事前に収集する。また調査結果を各自まとめ、講義内での分析およびディスカッションに備える。
2	観光資源の特性	観光資源(温泉、スキー場、宿泊施設、農村、海浜)	
3	観光政策・リゾートの課題	観光政策、リゾート開発史、リゾート地の課題	
4	各種ツーリズムの理解	アーバンツーリズム、エコツーリズムなど	
5	地域振興と観光事業	観光産業の特性と、地域経済に及ぼす効果	
6	関連計画の理解①	景観法に基づく景観計画の在り方	
7	関連計画の理解②	文化的景観選定における調査内容等	
8	観光計画の方法①	観光計画の方法について、具体的な事例をもとにした分析を行いながら修得する。	
9	観光計画の方法②		
10	計画事例の紹介①	都市内観光現地調査は都内2箇所とし、2コマ連続で実施する。	
11	計画事例の紹介②		
12	計画事例の紹介③		
13	計画事例の紹介④		
14	調査事例の分析	現地調査を行った箇所に対する事業評価を行い、改善点および改善方法等についてワークショップを行う。分析とディスカッションは2コマ連続で行う。	
15	調査事例における改善方法の検討		

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

観光読本/ (財)日本交通公社 / 東洋経済新報社 (2004)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

観光・レクリエーション計画 (土木工学大系 30) / 鈴木忠義ほか/ 彰国社 (初版 1984)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

現地調査報告書(40点)、改善点検討等におけるワークショップ作業(30点)、ワークショップ成果品(30点)

◆オフィスアワー

原則、水曜日の午後に11号館4階の研究室にて受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

本講義は受け身の姿勢ではなく、教員が提示する質問や意見に対して積極的に発言する姿勢を望む